

教育環境の充実に向けて

ご協力をいただいた教育環境充実基金により、様々な教育環境の充実を図っています。

超広角プロジェクタの導入

ご支援をいただいた教育環境充実基金でのプロジェクトとして、3年生教室に超広角プロジェクタが導入されました。黒板投射によって従来の板書と映像を組み合わせた授業を展開していきます。多機能な機器ですので、使いこなすための教員の研修も行ない、プロジェクタを利用した授業の実践を行っています。教育実習でも実習生が積極的にこのプロジェクタをつかった授業に挑戦してくれました。

本校の普通教室にはすでに教材提示用の大型プロジェクタが導入されています。大きな画面で視認性がよく使い勝手のよいプロジェクタですが、一方的な教材提示を目的としているため、インタラクティブな生徒とのやり取りや、従来の黒板などのメディアと併用した使い方は難しいものでした。新しく導入したプロジェクタは、生徒が主体となる授業の中核として機能し、本校が研究を進めている思考ツールなど手法を授業で活かしていくツールとして活用していきます。

現在、プロジェクタによって接続方法に差異があり、使いにくい部分が残っています。今後、使いやすくするための映像・音声配線の改良などを進めるとともに、探究的な授業のための使い方の研究を進めていきます。



コンピュータ室からクリエイティブ・コモンズへ

一人一台のタブレットが導入されたことによって、一人に一台のデスクトップPCが並ぶ従来型のコンピュータ室は使わなくなっていきます。本校では従来型の第1コンピュータ室を創造的・探究的なグループワークに適した「クリエイティブ・コモンズ」に改装して活用していきます。

一人1台のコンピュータがずらりと並ぶ教室ではなく、手元の一人1台のタブレットを活用しつつ、グループで議論を深めるための環境を作るために、簡単に場所や方向を変えることができタブレットの映像を共有できる大型モニタディスプレイを導入し、思い切りグループワークができる教室として機能させていきます。この第1コンピュータ室の改装が11月初旬に完成しました。31インチのアーム付きモニターを配備し、一人一台のタブレット端末を活かしたグループワークの専用教室として生まれ変わり、本校が目指している探究的・協働的に学ぶ力の醸成に向けた教室環境を具現化した教室となりました。

今回の改装について、研究会などで外部に照会したところ、そのコンセプトや従来の機材を活かした改装方法などに注目をいただいています。

今後、さらにこの教室の環境を充実させて活用を進めると共に、校内にこの教室と同じような活動ができる場を多く確保することができるように整備計画を進めていきます。



文化祭などの行事で使用する機器の充実

文化祭では、体育館のステージが手狭で思い切った表現が難しいため、予めから補助ステージを準備していました。以前は普通教室から教壇を運んで使っていましたが、10数年前に可搬型の補助ステージを購入して使っていました。学級劇の表現が豊かになるにつれて、現在のステージも手狭になり、また、合唱集会や総合学習、研究協議会などでも使用頻度が増えてきたため、今回、ステージの拡大を行いました。以前に導入したものと同一規格のステージが入手できるため、従来のものと連結して使用し、面積比で約2倍のステージを確保することができました。文化祭当日は、このステージが様々な表現に使われました。キレイのあるダンスや、従来は配置が難しかった大道具を使う表現も見られました。このステージは組み替えて様々な形に変更ができる可搬型のステージです。そのため体育館以外でも多目的室などの場所で様々な用途に使うことができます。研究発表大会や各種会議をはじめ、音楽班の演奏用ステージや学習発表会などでの利用も目論んでいます。

文化祭などで利用する照明機器についても、LED機器を増設することができました。体育館の電源容量の関係で白熱灯の照明機器の使用に制限があり、ステージなどに十分な明るさを確保することが難しい状況でしたが、今回LED機器を増設し、かなりの明るさを確保することができました。また、照明機器は集中コンソールから一括して操作することができるため、各クラスの照明係の皆さんは劇の流れにシンクロした明かりを作り出していました。また、大きな体育館で音声が聞き取りにくいことも多かったため、超指向性の集音マイクを増設しました。このマイクの性能を活かし、授業での動画撮影などの場面にも活用していきます。

今後も、大きなステージや新しい機器を使った魅力ある学級劇の表現に期待しています。



配信機材の導入

さらに、文化祭のリアルタイム配信のため、多くの機器を必要とする体育館の規模での劇の配信ができるように、カメラスイッチャなどを導入して質の高い配信になるよう準備しました。映像の配信は、想定外の連続でした。有志の生徒配信チームの皆さんが、初めて見る機械と格闘しながら配信をやり遂げてくれました。テロップの作成から、カメラ切り替え、ズーム映像の撮影まで、真剣に取り組んでくれたことに感謝しています。カメラによって色合いが違ったり、想定外の場所での演技をフォローできなかったり、カメラが発熱して撮影が不能になったり、現場の音声と配信音声との差を調整しきれなかったり、さらには十年以上前の有線LANより最近の無線LANの方が速かったりといったことがありました。今回、多くのトラブルから得たノウハウは次の機会に活かしていきます。

今後、11月の合唱集会についても、配信ができるように準備を進めています。



他にも次のような活用を進めています。

- ・合唱集会の課題曲などの練習用CDを購入し、合唱の取り組みを始めています。
- ・校内放送のチャイム送出機器の充実を計画しています。生徒会放送係と連携して、新しい機器を使った校内放送を創り出していきます。
- ・修学旅行の学習をまとめた冊子を、次年度も教材として利用できるよう、一・二年生に配布する準備を進めています。
- ・特別教室に大型スキャナを導入し、総合学習 BIWAKO TIME の過去40年間にわたる研究記録などのデジタルアーカイブを進め、今後のBIWAKO TIMEの資料として活用します。